

広報 五戸

2004年 / 10月号 / Vol. 544

第20回五戸町産業と文化まつり
第7回五戸地方農産物品評会

11月5日(金)・6日(土)・7日(日)

圧倒的スピード

切谷内チーム会心のゴール

〜町民運動会年齢別リレー〜



往年の名選手が熱く指導

徳武定祐少年野球教室



9月23日、ひばり野公園野球場において徳武定祐少年野球教室が開催されました。五戸町出身の元プロ野球選手徳武定祐さん(元中日)をはじめ、元ロッテの村田兆治さんと水上善雄さん、元中日の田野倉利男さん、元阪神の森忠仁さんの5人が講師を務め、投球やバッティングなどの基本技術を指導しました。

五戸町や近隣市町村から参加した小・中学生は約200人。この中から将来、プロの選手が誕生するかもしれません。



これぞ王者の貫録!? 今年も登場、切谷内チームの仮装ムカデ



息もピッタリ? (おしどりレース)



よ〜く狙って (ナイスシュート)

五戸地方駅伝競走大会



大会の結果

総合優勝 切谷内(町長旗)

第2位 上市川(議長杯)

第3位 上大町(教育長杯)

第4位 倉石

第5位 川原町

第6位 新町

第7位 下大町

ベストリレー優勝

男子 切谷内

(東奥日報旗)

女子 切谷内

(デリー東北旗)

リレー総合優勝

切谷内(竹内旗)

マラソン優勝

男子 岡田 元

(米海軍通信保安大隊司令杯)

女子 林 千秋

(五戸陸上競技協会長杯)



優勝旗を受け取る切谷内チーム

「たすきがつなぐ未来の郷土」をスローガンに、第4回五戸地方駅伝競走大会が10月3日ひばり野公園で行われ、五戸町と新郷村から参加した8チームの代表選手80人が、10区間22・69kmで健脚を競いました。中継地点にはたくさんの方が詰めかけ、力走する選手たちを激励していました。

大会の結果

優勝 とちの木(新郷村)

準優勝 五戸バイオレッツ

第3位 蛭川

切谷内チーム2年ぶり総合優勝

熱戦!!

第36回

五戸町民運動会



各町内の精鋭が対決 (ベストリレー)



おかあさん、早く早く! (おかあさんと一緒)

第36回五戸町民運動会が9月26日、ひばり野公園陸上競技場で開催され、各競技に熱戦が繰り広げられました。新たに倉石チームを加えた各町内13チームと、三沢基地海軍通信保安大隊から参加した選手たちは、家族や地元の声援を背に、玉入れや百足競走、リレーなど全22種目の競技にさわやかな汗を流しました。



落とさないようにね (ラケットレース)



「目が回る〜!」転倒者続出 (急がば回れ?)



タイミングよく「いっせーのーせっ!」(長縄跳び)



息を合わせて…(ジャンボ豆つまみ)



若い者に負けてません (カンつり競走)



この日一番の熱戦 (綱引き競争 切谷内 V S 豊間内)

果樹研究センター 参観デー



ブルーベリーの栽培法を熱心に聴く来場者

青森県りんご試験場県南果樹研究センターでは9月14日と15日の両日、日ごろの研究成果を一般公開する参観デーが開催されました。

試験ほ場の公開や果樹栽培相談など農家向けの催し以外にも、新品種の試食や即売などが行われ、大勢の町民でにぎわいました。



人気の試食コーナー

平和を願い 戦没者追悼式



戦争で犠牲となった尊い命を慰める五戸町戦没者追悼式が9月28日、町立公民館でしめやかに行われました。式では黙祷と軽米伝藏五戸町遺族会長らによる追悼のことばが英霊にささげられました。参加者は、戦後半世紀以上経っても薄れない戦没者への想いと平和への誓いを胸に、霊前に菊の花を供え、手を合わせていました。

五戸地区 交通安全大会

地域住民の命を悲惨な交通事故から守ろう。9月29日、町立公民館において五戸地区交通安全協会(三浦俊哉会長)主催による第16回五戸地区交通安全大会が開催されました。交通安全協会各支部は、歌や踊り、ファッションショーを通じて交通安全をアピール。さらに第2部では青森県警察音楽隊による演奏も行われ、観客を沸かせました。



県警音楽隊の演奏

文芸ごのへ

〈川柳〉

がんで逝き逝くまで働き夢あたえ久保田 玲子 (菖蒲川)

〈短歌〉

ワンダフル五輪と稲が豊作に
体重増えて心地良き秋 類家 清美 (菖蒲川)

出来秋を刈るコンパインの音去りて
東の空は中秋の月 田代 十志男 (上市川)

病魔と仲良しになろうあせらずに
点滴見つめて夫をはげます 藤村 ナヲ (鍛冶屋窪)

減反に見るかげもなく荒れた地の
畦に座りて吾の人生おもう 橘 ミネ子 (北市川)

嬉々として遊ぶ声にさそわれて
子どもらのいる広場へいそぐ 高嶋 春松 (野月)

仲秋の月はまんまる鏡かな
おのが心の奥まで写す 原 はつゑ (上市川)

●皆さんの作品を「文芸ごのへ」に発表してみませんか。
川柳・短歌などの区別を明記し、総務課広報係へ。
お待ちしております。

五戸町民

ソフトテニス大会 老若男女問わず楽しむ



今年で34回目を数える五戸町民ソフトテニス大会が10月10日に行われました。自分のレベルに応じたクラスに出場できるため、初心者・上級者問わず楽しめるこの大会。あいにくの雨模様により、五戸ドームでの開催となりました。

が、参加者は雨雲を吹き飛ばすような元気なプレイぶりを見せていました。



夢の森収穫感謝祭 & 倉石牛肉まつり



小渡平公園において10月10日と11日の2日間、「夢の森収穫感謝祭&倉石牛肉まつり」が開催されました。

10日は台風の接近に伴い朝から雨。心配された人出ですが、悪天候にもかかわらず町内外からたくさんの方が訪れ、幻の「倉石牛の味を堪能しました。11日には雨も上がり、来場者は「腹ごなし」とグラウンド・ゴルフに興じるなど、「食欲の秋」・「スポーツの秋」を存分に楽しみました。



オフロードレース東北シリーズ



10月3日、サーキットバーク切谷内において「ジャパンオフロードレース・イン八戸・東北シリーズ第2戦」が行われました。町内や近隣市町村はじめ、遠くは秋田県から参加した各チームによる迫力のレースに、客席からは大きな歓声が上がりました。同サーキットでは今後、3時間耐久レースが10月31日(日)に、東北シリーズ第3戦が11月21日(日)に開催予定です。

命の尊さを伝えよう

交通安全母の会三八ブロック合同研修会

青森県交通安全母の会連合会三八ブロック合同研修会が10月1日、倉石コミュニティセンターで行われ、五戸町はじめ三八地区の会員ら120人が参加しました。研修会では、元みゆき保育園保母で上大町在住の川井俊子さんが「子どもを守るのは母の愛」と題して講演。その後、「命の尊さを伝えよう」のテーマの下、活発に意見が交わされました。



介護保険でこんなこと

いつまでも元気で長生きしたい。
でも、自分や家族に介護が必要になったら…。
高齢社会を迎えた現在、介護は誰もが抱える共通の不安です。
そんな不安や負担をみんなで支えあうのが、
介護保険制度です。
介護保険でできること、みなさんにご紹介
しましょう。

費用の負担を軽くします

介護保険でサービスを利用している人にかかる費用は、1人あたり1か月平均で約16万円になります（平成15年9月審査分）。この費用すべてを自分で負担するのはとても大変です。

介護保険は、40歳以上の方が保険料を納め、介護が必要となったときにかかった費用の1割を負担することで、サービスを利用することができるしくみになっています。



介護する人、 される人の生活が変わります

介護は今まで、家族の力に頼りがちでした。けれども、介護は長丁場。家族にとって大きな負担となるものです。

介護保険では、利用者や家族が希望するサービスを選び、利用することができます。必要と感じたサービスを上手に利用して、いきいきとした生活を送ることが可能になります。



住みなれたわが家で、 自立した生活ができるようになります

介護が必要となっても、できるだけ自宅で暮らしたいと誰もが思うことでしょう。介護保険にはさまざまなサービスがありますが、その大半は、介護を必要とする高齢者が在宅で生活することを支援するためのものです。

大切なのは、高齢者が意欲を失わず、できる限り自立して暮らすこと。介護保険は、それを支援する制度です。



問い合わせ先 役場介護保険課 ☎ 62-2111 (代表) 内線260~263
☎ 62-7956 (直通)

受付月日	対象地区	受付時間	受付場所
11月24日	倉石又重地区	午後 3時30分から 午前 11時30分まで	セ ン タ ー
11月22日	倉石石沢地区 倉石中市地区	午後 3時30分から 午前 11時30分まで	セ ン タ ー
11月12日	豊間内地区 五戸・蛭川	午後 3時30分から 午前 11時30分まで	1 階 役場(本庁舎) 階 会議室
11月11日	切谷内地区 上市川地区	午後 3時30分まで 午前 11時30分まで	瑞 穂 館
11月10日	浅田地区	午後 3時30分から 午前 11時30分まで	浅水活性化センター

◎受付日程は、次のとおりです。

書が必要で
注意事項

継続手続の場合も耕作証明

が免除されます。

では、申請が認められた場合、
免税証が交付され軽油取引税

やコンバインなどで農作業を
する際に使用する軽油につい

農家の皆さんがトラクター

**平成17年度に使用する農業用免税
軽油申請の受付について**

※新たに申請する場合、必要書類など詳しくは、左記に問い合わせください。

● 八戸県事務所

☎ 27-5111

内線208・210

● 役場農林課

☎ 62-2111 (内線415)

☎ 62-7960 (直通)

全国糖尿病週間

11月8日～14日

講演会のお知らせ

糖尿病に関する講演会を開催します。入場無料ですので、多数ご来場ください。

- ◆日時 11月16日(火)
午後5時15分～午後6時
- ◆場所 五戸総合病院
1階講義室
- ◆演題 「糖尿病と共に生きよう」
- ◆講師 大根田 昭 先生
(元東北大学医学部教授)

“病院まつり”開催

五戸総合病院では、地域の皆さんとの連携を深めるため“病院まつり”を開催します。職員一同、皆さんのご来場を心からお待ちしています。

11月11日(木)・12日(金)

○作品展示(11時～15時)

リハビリ科の患者さんの作品や職員のツールペイント、手作りかごなどの作品を展示します。

○糖尿病・健康相談コーナー(10時～13時)

生活習慣病に関する相談コーナーのほか、理学療法士による「気軽にできる運動療法」の指導・糖尿病食の試食・体脂肪測定・血圧測定の各コーナーを設けました。

※11日(11時～13時)にはホスカフェも開店し、ケーキ・サンドウィッチの販売とコーヒーの無料サービスを行います。数に限りがありますので、お早めどうぞ。



時間 16時～17時

場所 中央待合ホール

手倉森勝利さんほか、さわらび会の皆さんによる三味線、民謡、手踊りをお楽しみください。

11月12日(金) 三味線コンサート

※曜日ごとの外来診療にあたる医師名は、各科外来受付に表示してあります。
※都合により変更になることがあります。

診療科	内科		外科	産婦人科	小児科	整形外科	脳神経外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	職名	医師名	備考		
	副院長	科長													
	新井田修久	愛川俊信	矢田部宏一	對馬清人	東山明弘	三浦昌人	大根田昭	蝦名宜男	渡部秀一	原田昭彦	井伊貴幸	井戸川敏彦	笹野拓也	(弘前大学)	第2・4金曜日
	副院長	副院長	副院長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長
	副院長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長
	副院長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長
	副院長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長
	副院長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長
	副院長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長
	副院長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長
	副院長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長
	副院長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長	科長

●五戸総合病院医師一覧表(11月)

●9月の診療科別患者数

区分	診療科	内科	外科	産婦人科	眼科	小児科	耳鼻科	整形外科	脳外科	皮膚科	計
		外来	4,338 (4,462)	741 (691)	546 (538)	1,087 (1,098)	213 (119)	636 (586)	1,951 (2,075)	720 (721)	237 (262)
入院	3,029 (2,925)	385 (767)	173 (290)	25 (10)	43 (0)	0 (0)	760 (506)	477 (536)	0 (0)	4,892 (5,034)	
4月からの延患者数	外来	25,948 (27,401)	4,354 (4,363)	3,167 (3,445)	6,533 (6,746)	1,470 (859)	3,957 (4,089)	12,339 (12,783)	4,283 (4,139)	1,438 (1,723)	63,489 (65,548)
入院	19,427 (17,762)	3,180 (4,038)	1,071 (1,628)	223 (243)	192 (0)	0 (0)	4,309 (2,705)	3,851 (3,881)	0 (0)	32,253 (30,257)	

※ 入院 = 毎日24時現在の在院患者延数 + 毎日の退院者数 () = 昨年度同期

五戸町子育てメイト冬の親子クラブ

子育て奮闘中の皆さん、子育てメイトと一緒に親子で楽しい一時を過ごしませんか。

クリスマスおたのしみ会



前回の冬の親子クラブ

- 期 日 平成16年12月3日(金)10時～12時
- 場 所 町立公民館 小ホール
- 対 象 0歳～就学前の子どもと保護者
(祖父母の方も大歓迎です)
- 参加費 1人100円(おやつ代)
- 申し込み 11月19日(金)までに各地区の子育てメイト、または役場福祉課まで
☎62-2111 内線252

第20回 五戸町産業と11月5・6・7日(金)(土)(日)

午前9時～午後4時(7日は午後3時まで)



文化まつり

産業まつり

五戸ドーム

商工大バザール
りんご・花の種無料プレゼント
アピオス・りんごジュース・アイス販売
つきたての餅即売
りんご・秋野菜販売
花き(ミニシクラメンほか)販売
地震体験(起震車搭乘)
菊花・盆栽展 ほか

文化まつり

町立公民館

陶芸・生け花・トールペイント・押し花・
絵画・茶道・押絵・裂織 ほか
小・中学校音楽会 芸能発表会

体育センター

幼・小・中児童生徒作品展・
書道展・絵手紙・水墨画

五戸代官所 はたお 機織り機展示・実演

第7回 五戸地方 農産物品評会

無料バス運行

《町立公民館発》	9:00	10:00	11:00	13:00	14:00	15:00*
《ドーム発》	9:45	10:45	11:45	13:45	14:45	16:10*

*7日は町立公民館発14:00、ドーム発15:10が最終運行

議会ニュース

9月の町議会定例会で、旧倉石村の平成15年度および16年度決算が認定されました。

●旧倉石村平成15年度決算

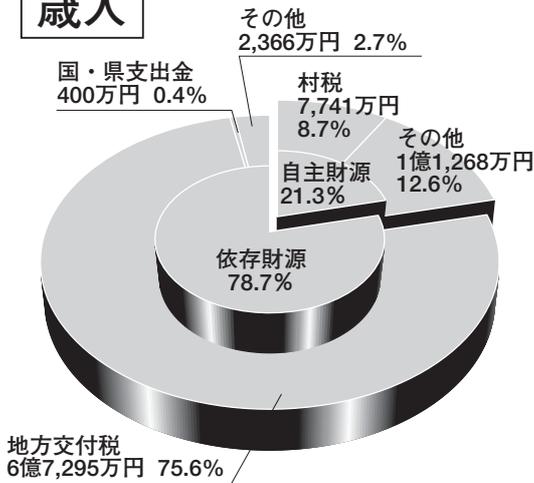
一般会計の歳入は、28億2,411万円、歳出は27億8,551万円で差し引き3,860万円の余剰金が生じました。このうち2,500万円を減債基金へ繰り入れし、残り1,360万円を翌年度へ繰り越しました。

●旧倉石村平成16年度決算 (6月末打ち切り)

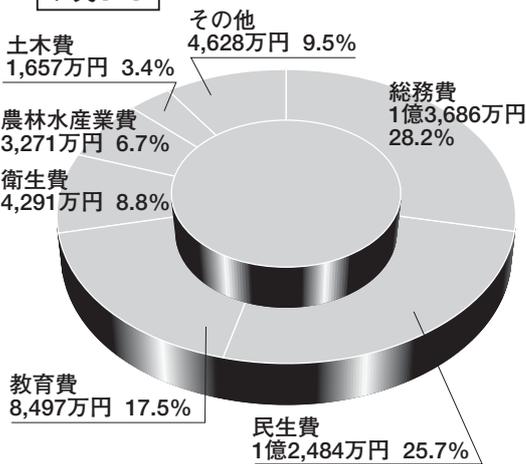
一般会計の歳入は8億9,070万円、歳出は4億8,514万円で差し引き4億556万円の残金となりました。特別会計の残金と合わせて4億2,332万円が五戸町の各会計に繰り入れとなりました。

一般会計

歳入



歳出

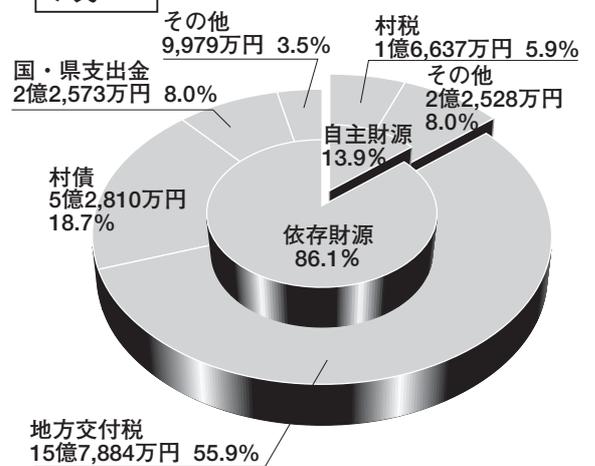


特別会計

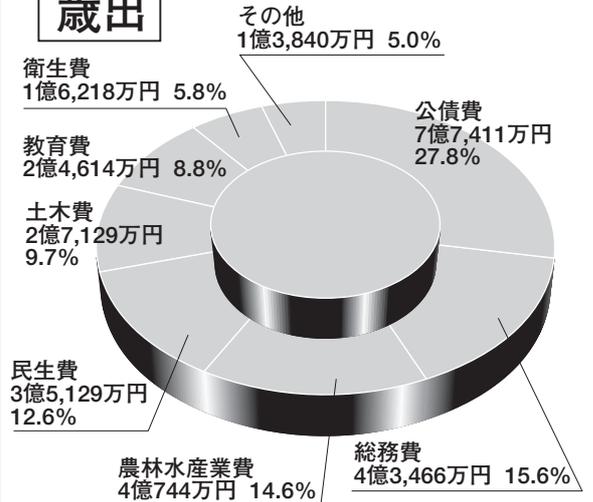
	歳入	歳出	差引
老人保健	8,585万円	7,577万円	1,008万円
介護保険	6,018万円	6,018万円	0円
国民健康保険事業勘定	7,572万円	7,266万円	306万円
国民健康保険直診勘定	3,497万円	3,494万円	3万円
簡易水道	1,443万円	986万円	457万円
農業集落排水処理施設	363万円	361万円	2万円

一般会計

歳入



歳出



特別会計

	歳入	歳出	差引
老人保健	45,971万円	45,971万円	0円
介護保険	26,269万円	25,813万円	456万円
国民健康保険事業勘定	37,404万円	33,638万円	3,766万円
国民健康保険直診勘定	14,240万円	14,230万円	10万円
簡易水道	5,595万円	5,568万円	27万円
農業集落排水処理施設	27,285万円	27,260万円	25万円
交流センター	2,446万円	2,446万円	0円
住宅用地造成事業	393万円	393万円	0円

平成16年度旧倉石村決算 (6月末打ち切り)

平成15年度旧倉石村決算

情報ステーション



このへ
大空に夢をはこぶ町

臨時労務手募集

- 職種および採用予定人員
倉石温泉運営労務手 1名
- 応募資格
60歳までの身体健康な方
- 雇用期間
平成16年12月1日から
平成17年3月31日まで
- 賃金
1時間当たり662・5円
- 受付期間
平成16年11月5日(金)から
11月15日(月)まで
- 申し込み方法
所定の履歴書に必要事項を記入のうえ、役場福祉課に提出してください。
※履歴書の用紙は役場総務課および倉石支所にあります。
- 申し込み・問い合わせ先
役場福祉課
TEL 62-2111
内線 252



青森県営農高等学校 学生募集

- 募集人員
70名(畑作園芸課程、果樹課程、畜産課程)
- 修業年限
2か年(全寮制)
- 受験資格
高等学校または中等教育学校を卒業した者(卒業見込みの者を含む)
- 推薦選考
願書受付
平成16年11月9日(火)から
11月19日(金)まで
- 一次募集試験
願書受付
平成17年1月4日(火)から
1月25日(火)まで
- 試験日
平成17年2月7日(月)
- 経費
受験料、入校金および授業料は徴収しません。ただし、入校時に諸経費として年額65万円が必要です。
- 申し込み・問い合わせ先
青森県営農高等学校 教務課
TEL 0176-62-3111

デイスカバー・グアム 参加者募集

(財)国際青少年研修協会では、小・中学生を対象にした冬休み海外派遣事業「デイスカバー・グアム」の参加者を募集しています。グアムの豊かな自然や文化に触れ、現地の人々と交流しながら島内探検(ジャングルトレッキング・ジャングルクルーズ)、海の活動(シュノーケリング・海水浴)、料理体験、ホームステイなどさまざまな活動を展開します。

- 派遣期間
平成16年12月25日(土)から
12月31日(金)まで
(事前研修会1日を含む)
- 対象
小学校3年生から中学校3年生までの男女
- 定員
30名(先着順)
- 費用
198,000円
- 申し込み期限
平成16年11月5日(金)
- 申し込み・問い合わせ先
(財)国際青少年研修協会
TEL 03-3359-8421

排水設備工事配管工認定・更新講習及び責任技術者更新講習の実施

- 日本下水道協会青森県支部の主催により、県下統一で実施されます。希望者ならびに該当者は申し込みください。
- 日時
配管工更新講習
平成17年1月24日(月)
配管工認定講習
平成17年1月25日(火)
責任技術者更新講習
平成17年1月26日(水)
 - 場 所
(八戸会場) プラザアーバンホール
 - 申し込み
平成16年11月29日(月)から
12月3日(金)までに、受講料を添えて役場上下水道課(分庁舎)へ申込書を提出してください。(郵送不可)
 - 問い合わせ先
日本下水道協会青森県支部
(青森市下水道部管理課内)
TEL 017-734-1111
内線 4813
 - 役場上下水道課
TEL 62-2111 内線 451

みんな 毎日 守られている 自賠責制度

自賠責保険・共済は、年間約130万件もの交通事故被害者に支払われています。

交通事故の発生件数は、この10年間で約30%増加し、毎年多くの死傷者を出しています。死亡者数こそ減少傾向にあるものの、負傷者数については過去ワーストの118万人を超えました。

毎年絶えない交通事故は、誰もが被害者に、そして加害者にもなる可能性があることを物語っています。ひとりひとりが、よりいっそう自賠責制度の役割や、保険・共済金支払いのしくみに対する理解を深めることが大切です。

原動機付自転車を含むすべての自動車の保有者に、自動車1台ごとに加入が義務づけられている保険・共済が、自賠責保険・共済です。交通事故により加害者となったときは、被害者に対する損害賠償責任を負います。強制保険である自賠責保険・共済は、すべての加害者の賠償責任を担保するとともに、すべての被害者の基本的な対人賠償を保障する役割を果たしています。



自賠責保険・共済の期限は切れていませんか？
車検制度のない原付自転車・250cc以下の軽二輪自動車は、
期限切れ、掛け忘れにご注意を！

- 問い合わせ先 国土交通省東北運輸局 青森運輸支局 輸送課
TEL 017-739-1502
自賠責制度の詳細内容は、<http://www.jibai.jp>でご覧になれます。

自動車保険請求相談センター

交通事故の態様が複雑化し、その解決にお困りの方も多いためです。社団法人日本損害保険協会では、そんな方々のために全国に「自動車保険請求相談センター」を設置し、自賠責および任意保険の請求について、一切無料でご相談をお受けしております。

- 相談日 月曜日～金曜日（祝日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:00
- 弁護士相談日 毎月第4水曜日（予約制、相談無料、要面談）
13:00～16:00



- 問い合わせ先 社団法人 日本損害保険協会 東北支部
青森自動車保険請求相談センター TEL 017-722-1025

11月の行事予定

●町民カレンダーと合わせてご利用ください。
●行事についての問い合わせ
TEL 62-2111 五戸町役場

- 3日(水) おもしろ科学教室
13:30~ 町図書館
- 5日(金)~7日(日)
五戸町産業と文化まつり
五戸ドームほか
- 6日(土) えほん工房
14:00~ 町図書館

11月の献血

健康なあなたと私にできること

- 7日(日)
9:30~15:30 五戸ドーム裏駐車場
(産業まつり会場)
- 17日(水)
9:30~12:30 五戸高等学校
14:30~16:00 (株)阿部繁孝商店

11月の相談

相談は無料です

- 11日(木) 倉石地区健康相談
13:00~15:00 保健福祉センター(倉石)
- 12日(金) あすなる教室
13:00~17:00 町立公民館
- 14日(日) 行政相談
13:00~17:00 倉石温泉
- 22日(月) 行政相談
10:00~15:00 倉石コミュニティセンター
- 25日(木) 浅田地区健康相談
13:00~15:00 役場浅田支所
- 健康相談
11日(木) } 13:00~15:00
18日(木) } 町立公民館児童室
- 交通事故相談(八戸支所)
毎週月曜日から金曜日
9:00~16:00 県八戸合同庁舎2階
- 交通事故巡回相談所
9日(火) } 10:00~15:00
22日(月) } 八戸市市民相談室

五戸町交通安全対策協議会 五戸警察署

11月は「いきいきシルバー交通安全強調月間」

この時期は、日没が早く夕暮れから夜間における高齢者の交通事故が多発することが懸念されます。

高齢者交通安全5則

- 1 横断は、左右をよく見てまっすぐ渡りましょう
- 2 車の直前・直後の横断はやめましょう
- 3 自転車に乗るときは、交差点や曲がり角で必ず安全を確かめましょう
- 4 車を運転するときには、健康状態に注意し安全運転を心掛けましょう
- 5 外出時は、反射材の着用など明るい服装を心掛けましょう

毎月1日は県民交通安全の日

11月9日は「119番の日」

ダイヤル119番は火災・救急・救助などの緊急時に消防本部へ通報するためのものです。いざというときの119番通報には、次のことに注意してください。

- ▲ 「火事」か「救急」の区別をはっきりと
- ▲ 落ち着いて住所(場所)、氏名、付近の目標を
- ▲ 「火事」または「救急」の内容を簡単に
- ▲ あなたの名前と、今使用している電話番号を

消防情報案内 ☎22-2111をご利用ください

五戸町教育相談員(倉石地区担当)



ひなはた きよし
日向端 潔

TEL 77-3231
五戸町大字倉石石沢
字堤沢9-3

いじめ、不登校などお気軽にご相談ください。

蔵書点検のため、11月27日(土)から12月3日(金)までを特別休館日とします。

図書館からのお知らせ

内線	TEL	農業委員会事務局	●申し込み期限	平成16年11月19日(金)	●申し込み	同	同	同	同	大字上市川字堺谷地
4	62		申し込み・問い合わせ先		田	所	田	所	田	田
3	1				8	9	9	9	8	15
2	2				8	8	5	8	34	6
	1				7	1	1	4	1	0
	1				m ²	m ²	m ²	m ²	2	m ²

農地の買受人募集

全国どこの現場でも 建退共制度!!

建設業退職金共済制度は、建設現場で働く方のために「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。事業主は、労働者の共済手帳に働いた日数に応じて、掛け金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

●事業主のみなさまへ

- ・申し込み手続きは簡単です（加入時に経費は掛かりません）。
- ・経営事項審査で加点されます。
- ・掛け金は全額非課税で国が一部を補助します。

●建設現場で働くみなさまへ

- ・建退共の手帳を持っていませんか？
- ・事業主が変わっても退職金は通算して計算されます。

●問い合わせ先

建退共青森県支部
TEL 017-722-7611

自衛隊生徒募集

●応募資格

17歳未満の男子で中学校卒業者（卒業見込みを含む）

●受付期間

平成16年11月1日(月)から平成17年1月11日(火)まで

●一次試験日

平成17年1月15日(土)

●申し込み・問い合わせ先

・自衛隊八戸募集事務所
TEL 45-11920

●自衛官募集相談員

川村菊之蔵 TEL 62-2971
福田 馨 TEL 62-2419
中川原良治 TEL 62-4301
小泉 昌明 TEL 62-5491
川崎 孝光 TEL 68-2556
橋向 党子 TEL 77-3151
久保 富弥 TEL 77-2587



東北電気保安協会

最低賃金が 改正されました

青森県最低賃金は、10月1日から時間額で606円に改正されました。産業別最低賃金（4業種）が適用される労働者を除き、県内で働くすべての労働者（常用、臨時、パート、アルバイトを問わない）とその使用者に適用されます。

●問い合わせ先

・青森労働局 賃金室
TEL 017-734-4114
・八戸労働基準監督署
TEL 46-3311

違います！ 車検と点検整備

平成7年と平成10年に施行された道路運送車両法の改正により、自動車の保守管理責任は使用者にあることが明確にされ、自動車の適正な保守管理が重要となっています。

車検が済んだからと安心して、日ごろから点検を心掛けて、点検整備はきちんと行いましょう。

●問い合わせ先

東北運輸局 青森運輸支局
TEL 017-739-1506

フリーフリー テレフォン

（財）21世紀職業財団青森事務所では、もっと安心して働きたいあなたに、育児・介護・家事代行などのサービスに関する地域の情報を電話でご案内しています。

※情報提供は無料です。

●相談日・時間

月曜日から金曜日（祝日を除く）、午前9時30分から午後4時30分まで

●問い合わせ先

TEL 017-776-2020
フリーフリー

年末資金の申し込み・相談受付中

国民生活金融公庫八戸支店では、次の通り年末資金の取り扱いをしています。早めのご相談をお待ちしています。

一新しく事業を始める方へ【新規開業ローン】

	運転資金	設備資金
融資額	7,200万円以内 (ただし、運転資金は4,800万円以内)	
返済期間	5年以内	15年以内
利率	年1.7%（9月10日現在）	

※このほかにも、使い道によって利用できる特別貸付制度があります。

一ほとんどの業種の方へ【国の事業ローン】

	運転資金	設備資金
融資額	4,800万円以内	
返済期間	5年以内	10年以内
利率	年1.7%（9月10日現在）	

※上記のほか、経済対策に伴う特別貸付制度（セーフティネット貸付）があります。

一教育資金を検討している方へ【国の教育ローン】

利用できる方	高校・短大・大学・専門学校などへ入学・在学する方の保護者で、世帯の年間収入が990万円（事業所得者については770万円）以内の方
融資額	生徒・学生1人につき200万円以内
返済期間	10年以内
利率	年1.65%（9月10日現在）
用途	入学時・在学中に必要な費用

●問い合わせ先

国民生活金融公庫八戸支店 TEL 22-6274

郷土探訪

「又重(上)」

浦田から新郷に向かって歩くと、最初は山田である。

二十七段のブロックを登り、馬の神様を祭る氣比神社をガラス越しにのぞく。改築されたらしい社殿には、絵馬や第一回五戸地方荷馬車大会、役馬競技大会の優勝旗が並ぶ。

山田から太田、谷地中へと足を運ぶ。右側に広場が見え



見事な彫刻が施された新山神社

る。旧又重小学校跡地で、今は又重交流館が建っている。

さらに足を延ばせば農協又重出張所、天理教の神殿、倉石温泉と続く。移転した又重小学校。近くの高台には新山神社がある。鳥居をくぐり、急な石段九十段を登る。立派な本殿は昭和十三年竣工。境内では種々の石碑が目に入る。順に列記してみたい。

- ①**大典記念植樹碑**・モミ十本
銀杏十本・大正十年十一月・藤村耕一ほか八人
- ②**新山神社の碑**・明治三十五年七月
- ③**日向堰土地改良区**・昭和二十七年三月
- ④**又重農協創立五周年記念碑**・創立昭和二十三年二月・合併昭和四十一年二月
- ⑤**獅子**・明治四十一年旧七月・竹洞賢蔵ほか
- ⑥**仰徳碑**・昭和三十五年旧七月



館町の水道記念碑

- ⑦**本殿新築記念碑**・昭和三十三年旧七月
- ⑧**灯ろう**・昭和九年七月
- ⑨**皇紀二千六百年碑**
- ⑩**征清凱旋記念碑**
- ⑪**新山神社由来記**・昭和三十三年旧七月

拜殿の右側上段には五祭神(大国主命、素盞鳴命、少名彦命、蒼前大神、天満天神)を祭る看板が目につく。また、柱には見事な昇竜の彫刻があり、参拝者の話題となっている。

「新撰陸奥国誌」には「境内千三百七十坪、旧当社は三明院という修験者がその後、別当に復飾して本田匡と改め明治三年十一月神職となり、同六年三月免ぜられて田島平内という者が兼務、同七年辞

職して、新井田登(五戸小学校初代校長)が兼務となる」こんな文で綴られている。館町の服部家にある棟札は「元禄樟蔵卯月・願主秀晴妻鏡緒・木村亀松」裏は「又重十五郎法秀造立下知・別当昭光院」との異説。例祭は八月十八・十九日の両日。地区対抗の相撲や鶏舞が奉納される。

宮台前から五戸川を越えて館町へ。慶長三年(一五九八年)の館持支配帳には「五戸又重館は八百石、又重弥五郎」、「代々、又重氏の居館」とある。下モ館の北の緩斜面には上ミ町、前小路、中町、下モ町、後小路、新町の町名があり、さらに番坂、大手、菩提寺の旧跡とみられるジュウドウ(儒童)の地名が今も残る。

大手の坂の途中に、集落で初の簡易水道の碑を見た。「水路開通・昭和九年十月」。前の沢から百間運んできた清水という。発起人は小笠原三太郎ほか九人。七十年前の水道は、現在も地域を潤す。

五戸町文化財審議委員
三浦 榮一

あたたかい善意

五戸町交通安全母の会(北千代子会長)からアレンジフラワーが寄贈され、来庁者の目を和ませていました。



11月の納期

納期限	11月30日
固定資産税	第4期
国民健康保険税	第3期

町の人口

(前月対比)	
男	10,402人 (-7)
女	11,096人 (+3)
総人口	21,498人 (-4)
世帯数	6,894世帯 (+13)
平成16年10月1日現在	